

## 令和6年度赤十字看護専門学校本社学生研修に参加

7月4日、赤十字看護専門学校本社学生研修に2年生41名が参加しました。コロナ禍では対面での研修ができませんでしたが、5年ぶりに日本赤十字社本社で研修が開催され、4校の看護専門学校（浦河・石巻・大津・姫路）が集結し、交流を持ちました。

日本赤十字社副社長や看護部長から、「赤十字の学生に期待すること」として、赤十字での学びを誇りに、赤十字の看護の心と技を受け継ぐこと、自分自身と仲間・周りの人を大切に1つ1つ乗り越えることというメッセージを受け取りました。また、救護関係資料や赤十字情報プラザの見学、各学校の紹介を通して、赤十字の理解を深め、赤十字の一員としての一体感や自覚を持つことに繋がりました。同じ赤十字看護専門学校で学ぶ仲間たちとの交流は互いに良い刺激となり、共に頑張る仲間から元気がもられた有意義な研修となりました。

これからは、国内外で活躍できる赤十字看護師を目指し、講義や実習を通して看護を深めていきます。



## ふれあい看護体験を開催(姫路赤十字病院)

7月29日～30日、高校生の夏休みを利用して「ふれあい看護体験」を開催しました。ふれあい看護体験は、兵庫県看護協会が行うイベントで、当院も毎年参画しています。

午前中は、「看護師の仕事」、「がんのお話」、「命の大切さ」、「災害救護・国際救援」のプログラムを実施。妊婦（職員）のお腹に超音波エコーをあて、胎児の心音を聞く体験や、ナイチンゲール記章を受章した高原看護副部長から国際救援の話聞いていただき、平和であること、教育を受けることが当たり前ではないことを考える機会にもなりました。

午後からは看護師の仕事体験していただくため、病棟や外来の看護師と行動を共にする時間を作りました。「看護師が患者さんへかけた言葉によって、患者さんがどんどん安心した表情になった」「些細なことにも気づき手を差し伸べていた」など、私たち看護師が日頃から大切にしていることを感じていただきました。



いのちと健康を守る赤十字活動は  
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。  
**活動資金にご協力をお願いします**

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます  
〒 口座記号番号:01110-0-1136  
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部  
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

## 講習会のご案内 対面での講習会のご案内

救急法基礎講習 (1日の講習)	10月26日(土) 13:00～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
救急法救急員養成講習 (2日間の講習)	12月21日(土)・22日(日) 9:30～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター(三木市)
救急法基礎・救急員養成講習 (3日間の講習)	10月12日(土)・13日(日)・14日(月・祝) 9:30～17:30 (初日は13:00～17:30) 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階 11月30日(土)・12月1日(日)・7日(土) 9:30～17:30 (初日は13:00～17:30) 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
幼児安全法支援員養成講習 (2日間の講習)	11月2日(土)・3日(日) 9:30～17:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
健康生活支援講習支援員養成講習 (2日間の講習)	12月14日(土)・15日(日) 9:30～16:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階

※申込期日は開催日(初日)の1カ月前までです。

## オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

講習内容	開催日	時間
災害への備え(大雨・土砂災害編)☆	【防災セミナー】	10月9日(水) 10:30～11:30
みんなで学ぼう応急手当	【救急法】きずの手当	10月9日(水) 14:00～15:00
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	10月29日(火) 10:30～11:30
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	10月29日(火) 14:00～15:00
今、考えようよ自分の健康☆	【健康生活支援講習】健康な高齢者をめざして	11月12日(火) 10:30～11:30
知っておきたい急病・手当の基本☆	【救急法】急病の手当	11月12日(火) 14:00～15:00
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	11月26日(火) 10:30～11:30
ちょっと知ってみたい。認知症 ☆	【健康生活支援講習】地域で支える認知症	11月26日(火) 14:00～15:00

☆印の講習は講義のみです。それ以外の実技を含みます。  
企業や各種団体でもオンライン講習にお申込みいただけます。  
上記日程以外でも開催することができますので、当支部救護課講習係にご連絡いただき、社内研修等でご活用ください。  
講習についての最新情報は、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認ください。お問い合わせは0120-078-456(振興課)まで

## 講習に関するお問い合わせ

Tel.078-241-1499

## ホームページ(講習のページ)

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/>

## 遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。  
お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで

※隔月(奇数月)に発行しています。

**日本赤十字社** 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 9月号 [2024年9月1日発行]

ひょうごの  
赤十字+

2024

9

■ ホームページ  
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>  
■ インスタグラム  
[https://www.instagram.com/nisseki\\_hyogo/](https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/)  
■ Facebook  
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>



いのちと健康を守る活動へのご協力に感謝いたします。



- 兵庫県日赤有功会が令和6年度総会を開催
- 県内の保育協会等へ救急医薬品セットを贈呈
- 令和6年度第1回赤十字防災ボランティア実践研修会を開催
- 西播磨赤十字奉仕団研修大会を開催
- 令和6年度兵庫県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターを開催
- 令和6年度赤十字看護専門学校本社学生研修に参加
- ふれあい看護体験を開催(姫路赤十字病院)



## 兵庫県日赤有功会が令和6年度総会を開催

6月24日、令和6年度兵庫県日赤有功会総会が兵庫県支部にて開催され、66名が参加しました。兵庫県日赤有功会は、赤十字活動への支援を通じて国の褒章や日本赤十字社有功章等を受章された方々で構成された組織で、主に活動資金へのご協力により赤十字活動を支援いただいております。

総会では、「令和5年度事業報告・決算」、「令和6年度事業計画・予算」について審議され、引き続き赤十字活動普及のための支援や、会員相互の親睦を図る事業に取り組んでいただけることになりました。

また、叙勲を受けられた方や米寿を迎えられる方々へのお祝いのほか、仲間づくり運動に貢献された方への表彰も行いました。

総会終了後は、令和6年能登半島地震の救護活動にも従事した神戸赤十字病院の白坂大輔消化器内科部長から、「私の中の赤十字～阪神・淡路大震災から能登半島地震災害まで～」と題して講演いただきました。



▲米寿を迎えられた(左から)原口加代子さん、久保田具代さんと桑田会長



▲仲間づくり感謝状を贈呈された山下淑子さん(左)と桑田会長(右)



▲総会の様子



▲講演する白坂医師

## 県内の保育協会等へ救急医薬品セットを贈呈

6月25日、兵庫県支部から兵庫県保育協会等へ救急医薬品セットを寄贈しました。

令和2年度から始まったこの事業は、新型コロナウイルス感染症まん延状況下において、社会生活を維持する上で保育という必要なサービスを堅持されている皆様に感謝と敬意を表したいという思いからスタートしました。日常の保育において、園児のケガの手当等に使用いただける救急医薬品セットを今年度は966セット寄贈しました。

生安事務局長は「このセットには、緊急時に必要なもの、日常的な健康管理に役立つものが含まれていますので、子どもたちの健康・安全をサポートの一助になればと思います」と話しました。



## 令和6年度第1回赤十字防災ボランティア実践研修会を開催

7月13日、「令和6年度第1回赤十字防災ボランティア実践研修会」を開催し、特別赤十字奉仕団員や個人登録の防災ボランティア25名が参加しました。

今回は、赤十字ボランティアとして活動するうえで必要な知識と技術を身につけることを目的とし、「大釜を使った炊き出し(カレーライス)」や「ロープワーク」、「三角巾を使ったきずの手当」の講習を行いました。

参加者からは「ハイゼックス(高密度ポリエチレン)の特徴や三角巾の使い方など、知らなかったことが多かった」、「今日教えてもらったことを忘れないよう定期的に復習し、いざというとき落ち着いて行動したい」などの感想がありました。

赤十字ボランティアとしての経験値、年齢差に気後れすることなく、お互いが持っている知識や技術を積極的に教え合うなど、有意義な研修会となりました。



## 西播磨赤十字奉仕団研修大会を開催

7月31日、相生市文化会館にて「西播磨赤十字奉仕団研修大会」が開催され、西播磨地域の赤十字奉仕団や相生市内の青少年赤十字加盟校、相生市各種団体等 総勢190名が参加しました。

実技研修では「AEDを用いた心肺蘇生」、「三角巾を使った止血の方法と骨折の手当」を行いました。

昼食には、相生市消費生活研究会を中心に大釜でカレーライスの炊き出しを実施しました。暑い中での炊き出しとなりましたが、熱中症対策を徹底して取り組みました。

その後、研修全体の締めくくりとして、小学生、中高生・奉仕団ごとの部門に分かれて胸骨圧迫の速さ・テンポを競うレースを実施し、参加者からは「胸骨圧迫のリズムが難しかった」「正しいスピードで正確に圧迫することが大切だとわかった」「すごく体力が必要だと思った」などの感想がありました。



## 令和6年度兵庫県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターを開催

8月7日～8日、1泊2日の日程で兵庫県広域防災センターにて令和6年度兵庫県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(以下トレセン)を開催しました。

県下の青少年赤十字加盟校から、中学生12名、高校生34名、指導者10名、赤十字奉仕団13名が参加しました。

トレセンでは、学校も学年も違う青少年赤十字メンバーが行動を共にし、自主性を引き出すために、各自の自発性に基づくボランティア・サービス方式を活動や組織運営に取り入れています。

今年度は阪神・淡路大震災から30年を迎える年ということ、また、1月1日に令和6年能登半島地震が発生したことから、「防災」をテーマに様々なプログラムが企画されました。

1日目は、オリエンテーション後、阪神・淡路大震災の救護活動のDVDを視聴し、ダンボールトイレ製作、炊き出し、救急法講習に取り組みました。

2日目は、ボランティア・サービスの活動振り返り、救急法競技大会、フィールドワークを実施しました。

参加者からは、「三角巾の結び方ができるようになって嬉しかった」「学校では経験できないようなことができて良かった」という声が聞かれました。

